

平成 28 年播種（平成 29 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔4 月 10 日調査結果〕

1. 供試品種および耕種概要

・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

・排水対策：暗渠または弾丸暗渠
（ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔）

- ・播種期：10 月 19 日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：尿素燐加安 777 号
（N：0.8 kg/a, P205：0.8 kg/a, K20：0.8 kg/a）
- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目（前作水稻）

2. 気象概況〔3 月下旬～4 月上旬〕（表 1，図 1～3）

- ・平均気温では，3 月第 4 半旬と 4 月第 2 半旬が
平年より高かったが，他の期間は平年並み～や
や低く，低温期間と高温期間が交互にあった。
- ・降水量は，3 月第 3 半旬と第 5 半旬にまとま
った降雨を観測したが，期間後半は少雨であ
った。
- ・日照時間は，まとまった降雨（降雪）があ
った 3 月第 3 半旬と第 5 半旬が少照だ
ったが，期間全般では概ね平年並みとな
った。
- ・期間中に積雪を観測したのは 3/15 のみであ
った。4/6 に日最高気温 20.5℃を観測した。

表1 気象経過（3月第3半旬～4月第2半旬）古川AMeDAS

月 半旬	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
3月 第3半旬	2.6	-0.4	23.5	218%	8.8	31%
3月 第4半旬	5.2	1.3	5.0	43%	44.9	158%
3月 第5半旬	3.5	-1.0	15.0	128%	29.9	106%
3月 第6半旬	4.9	-0.5	9.0	68%	26.5	75%
4月 第1半旬	6.4	-0.4	1.0	9%	33.4	108%
4月 第2半旬	10.2	2.2	1.0	7%	25.2	82%

3. 生育概況

1) 4 月 10 日現在の生育状況（表 2）

- ・草丈は，大麦，小麦とも平年並み～やや長か
った。記録的暖冬の前年比では短かった。
- ・茎数は，大麦と「シラネコムギ」が平年より
やや少なく，「ゆきちから」と「あおばの恋」
は平年並みとなった。前年比では前年並み～
多かった。
- ・葉数は，大麦は平年より多く，小麦は平年
並みであった。前年差では大麦，小麦とも
前年値を下回った。

2) 幼穂分化状況（表 3）

- ・幼穂長は，大麦が約 10mm 前後で平年より
長く小麦が 3mm を超えて概ね平年並みとな
った。
- ・幼穂形成始期は，大麦が 13～21 日，小麦
が 4～12 日，平年より早かった。
- ・茎立期は，大麦が 1～3 日，小麦が 3～6
日，平年より早かった。

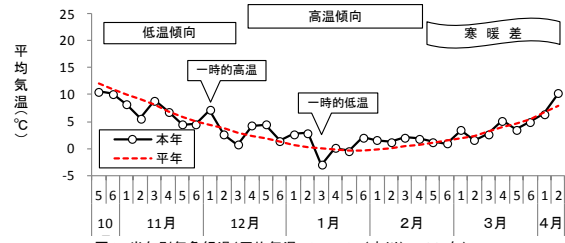


図1 半旬別気象経過（平均気温，AMeDAS（古川），2016年）

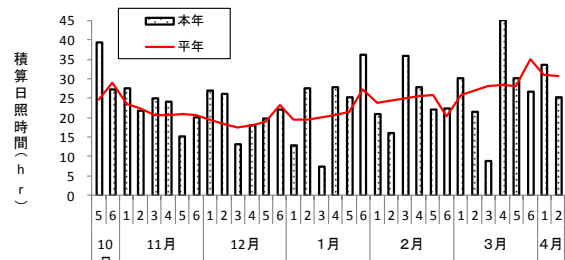


図2 半旬別気象経過（積算日照時間，AMeDAS（古川），2016年）

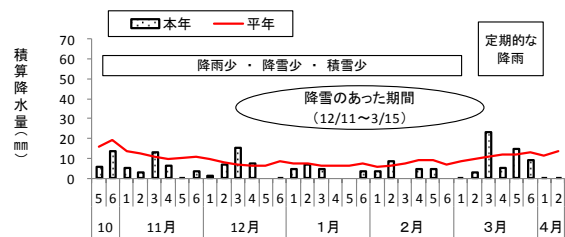


図3 半旬別気象経過（積算降水量，AMeDAS（古川），2016年）

表2 生育状況（4月10日現在）

品種	草丈			茎数			葉数		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/m ²)	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)
シュンライ	28.4	60	108	711	97	73	10.1	-0.6	0.9
ミノリムギ	25.2	62	104	915	104	88	9.8	-2.0	0.4
あおばの恋	32.5	67	112	920	124	104	8.0	-0.5	0.1
シラネコムギ	26.4	67	107	821	98	87	8.8	-1.6	-0.2
ゆきちから	24.5	76	115	1152	115	100	8.7	-1.7	-0.1

注1) 平年比(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値との比較。

表3 幼穂分化状況（4月10日現在）

品種	幼穂分化		幼穂形成始期 本年 平年 (月日) (月日)	主稈長 (mm)	茎立期		減数分裂期		出穂期			
	本年	平年差			本年	平年	本年予測	平年	本年予測	平年		
	(mm)	(mm)			程度	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	(月日)	
シュンライ	13.60	3.50	X以降	1/26	2/8	107.4	4/2	4/3	4/17	4/22	4/25	4/30
ミノリムギ	8.70	1.90	X以降	2/1	2/22	61.0	4/3	4/6	4/21	4/25	4/30	5/3
あおばの恋	7.70	-1.50	X以降	2/6	2/11	67.1	3/26	3/29	4/23	4/24	5/5	5/5
シラネコムギ	3.40	-0.50	IX~X	3/6	3/18	42.2	4/4	4/11	4/29	4/30	5/9	5/10
ゆきちから	3.50	0.00	IX~X	3/17	3/21	26.1	4/8	4/14	4/29	4/30	5/10	5/11

注1) 平年(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値(比較)。

2) 幼穂形成始期: 幼穂長が1mmに達した日。

3) 茎立期: 主稈長が20mmに達した日。

4) 減数分裂期: 幼穂長が30mmに達した日。

5) 出穂期: 全茎の40~50%から出穂した日。

6) 本年の減数分裂期及び出穂期は、古川農試麦類生育ステージ予測シート(Ver 3.0)による予測値。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期		小穂分化期		穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に、IX期は「前・中・後期」に区分される。

平成28年播種(平成29年産)麦類生育調査ほ生育状況[4月10日調査結果]

表4 麦類生育調査ほ 耕種概要

担当普及センター	品種名	実施場所	畑転換年数	排水対策(明渠、暗渠等)	播種期(月/日)	播種量(kg/a)	条間(cm)
大河原	シュンライ	大河原町	18	暗渠	10月24日	1.0	30
	ミノリムギ	大河原町	1	暗渠	10月24日	1.0	30
仙台	シュンライ	大和町	15	本暗渠, 明渠	10月末	0.8	28
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	3	暗渠	10月15日	1.0	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	3	暗渠, 明暗	10月14日	1.2	22.9
	ゆきちから	涌谷町	1	暗渠	10月28日	1.2~1.3	22.2
登米	あおばの恋	登米市豊里	15	本暗渠, 弾丸暗渠	10月27日	0.9	24
石巻	シュンライ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月21日	1.0	30
	ミノリムギ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月20日	1.0	30
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	11月5日	0.9	22.5

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表5 麦類生育調査ほ 生育状況(4月10日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種期	草丈			茎数			幼穂長(mm)
			本年 (月/日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町	10/24	25.4	67	108	820	172	131	12.0
	ミノリムギ	大河原町	10/24	29.1	74	144	673	147	140	10.0
仙台	シュンライ	大和町	10月末	18.6	50	69	246	25	43	3.9
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/15	23.0	59	107	1413	125	162	2.7
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/14	25.7	77	139	1312	140	150	1.6
	ゆきちから	涌谷町	10/28	27.5	116	161	1466	175	185	1.6
登米	あおぼの恋	登米市豊里	10/27	35.8	—	—	1253	—	—	6.7
石巻	シュンライ	石巻市桃生	10/21	23.8	56	97	373	60	55	9.0
	ミノリムギ	石巻市桃生	10/20	27.9	79	130	680	122	109	3.3
	シラネコムギ	石巻市小船越	11/5	23.8	83	111	1120	123	87	1.1

注1) 生育調査ほ(品種別)毎に過去5か年の値を平均した値をそれぞれの平年値とした。

注2) 仙台「シュンライ」は、平成25年播種から実施場所が変更となったため、平年値は過去3か年の参考値。

注3) 美里「シラネコムギ」の平年値は、平成24年播種を除く過去4か年の参考値。

注4) 登米「あおぼの恋」は、本年から実施場所が変更されたため、前年値及び平年値はない。

生育状況等に関するコメント^(注)

(注)調査ほ変更等で過去5か年の平年値がない場合でも、各普及センターが独自に蓄積した地域平均等と比較して評価した箇所がある。

大河原

- ・「シュンライ」 生育は良好。オオイヌノフグリの発生：少。
- ・「ミノリムギ」 生育は良好。メシヒバの発生：少。

仙台

- ・白鳥による食害のため、草丈、茎数は参考値。
- ・幼穂長は過去15年平均と比べほぼ同等。

大崎

- ・草丈は平年比107%の23.0cm、茎数は平年比153%の1412本で過剰傾向、幼穂長は平年差-0.07mmでほぼ平年並み。
- ・雑草、病害虫の発生もなし。

美里

- ・両品種(「シラネコムギ」、「ゆきちから」)とも鳥害がほぼ回復したと見られ、順調に生育が進んでいる。
- ・「ゆきちから」では茎立期に入ってきている。
- ・両ほ場(「シラネコムギ」、「ゆきちから」)とも雑草はほとんど発生していない。

登米

- ・3月下旬～末にかけてほ場の一部で枯死、茎数の減少が起こった(原因は不明)。4月10日現在では回復し始めているが、欠株になりほ場が露出している部分が見られる。
- ・調査区では茎数の減少等の異常は見られず、順調に生育している。
- ・ヒメオドリコソウ、ノボロギク等の雑草少発生。

石巻

- ・草丈は「シュンライ」、「シラネコムギ」は平年並み、「ミノリムギ」は平年を上回った。茎数は「シュンライ」が平年の55%、「シラネコムギ」が平年の87%と少ないが、「ミノリムギ」は平年並みであった。幼穂長は平年並み～やや短く、減数分裂期は平年よりもやや遅くなる見込み。
- ・なお、「シュンライ」及び「ミノリムギ」のほ場において、鳥害による欠株が見られた。